

東海支部新進部会セミナー

【理論と現実のギャップについて】

日時：2026年3月20日(金) 10:50~12:30
 会場：静岡大学 浜松キャンパス総合研究棟 第5会場
 主催：日本塑性加工学会 東海支部 新進部会
 趣旨：塑性加工分野では有限要素法(FEM)をはじめとした成形解析が多くもちいられている。しかし、実際に加工を行う際には加工環境の違いなど管理できない部分が影響し解析結果と違いが出てしまう。解析利用者は条件の見直し等を行い、これらの差を埋めるために努力している。そこで、他分野では解析、シミュレーションといった計算上の結果と現実が出す結果との差をどの様に捉え、アプローチを行っているかを学び、自らの分野へ活かせる場とする。

内容：

司会 (株)青山製作所 高島 広太郎君
 開会の挨拶 (10:50~10:55)

(株)UACJ 永谷 圭祐君

1. 講演 I 「生物羽ばたき飛翔における流れの理解」
 (10:55~11:35)

羽ばたき翼周りの流れを事例に、非定常数値流体解析と実験計測により得られる流れ場や空気力のギャップの要因を解説します。また、これらのギャップを埋めるべく、計算側での適切な流体モデルの選択や解像度の設定、実験側での高精度な3次元モデルの構築やデータ処理など、現象の真の姿を深く解釈するための具体的なアプローチを紹介します。

東京工科大学 野田 龍介君
 (5分休憩)

2. 講演 II 「機械×情報-共創が切り拓く未来と課題-」
 (11:40~12:20)

AI やデジタルツインなどの情報技術の進展は、機械や機械システム的设计・制御・運用に新たなパラダイムシフトをもたらしつつある。本講演では、機械と情報の共創が切り拓く未来の社会・産業の姿を展望するとともに、AI などの情動的知能を現実の物理世界へと写像する際に生じる課題について議論する。

大阪大学 末岡 裕一郎君

3. 意見交換会

(12:20~12:30)

定員：50人(定員になり次第締め切ります)

申込について：2026年塑性加工春季講演会参加者は申込不要
 本セミナーのみ参加の方は下記リンクより登録をお願いします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdmkuv5SDjDwqb1YFyB7JfMemYbL8l0ICyy1kt8fx5bW8UbnQ/viewform?usp=publish-editor>



※頂いた個人情報は本イベント以外で使用いたしません。

締切：2026年2月28日

問合せ先：(株)青山製作所
 生産技術グループ
 高島 広太郎
 電話：0587-95-1154

E-mail：takashima.kotaro@aoyamagr.com

※各講演時間は30分を講師による発表、10分質疑応答を予定しています。

※講演者、講演順序は変更の可能性がありますのでご了承ください。

※講演内容の撮影、録音はご遠慮いただいております。ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。